

# 富岡地域づくり 協議会だより



第11号

平成29年10月16日

広報委員会

<http://www.town-tomioka.click/>

## 青色回転灯装着車による防犯パトロールの実施について



年50回を超えてパトロールが実施されています。屋根に青色回転灯を装着し、防犯に関する案内をスピーカーから流しながら走行している車をみかけられた方が多くおられることと思います。その車によるパトロールのことです。

広く富岡地区内を、それもかなりくまなく地区内の道路を走行し、「オレオレ詐欺の防止」「交通事故の防止」「空き巣や自転車盗の防止」「子ども達への声かけへの対応」「暴力排除」等を内容とする防犯を呼びかけながら行っているパトロールの件です。

所沢市防犯協会富岡支部の事業のひとつで、各自治会より選出された防犯委員が交代で車に乗り込み、ローテーションにより行われているものです。

すなわち、実施時期により地元の自治会の防犯委員等がその車に乗っていることとなります。

年間50回以上の実施とは、1週間に1度程度の勘定になり、いかに頻繁に行われているかが想像いただけるとと思います。車はゆっくりと走っていますので、みかけましたら、お声かけをいただく等でその労をねぎらっていただければと思います。

尚、当防犯協会では、年3回の防犯自主活動・市や県の事業への参加、及び、富岡地域づくり協議会主催の防災訓練やウォークラリー等への協力も行っています。これらについて、当防犯協会への更なるご理解とご協力をお願いします。



ところで、当防犯協会が所属している富岡地域づくり協議会地域安全部会として下記により「防災に関する講演会」を開催いたします。多数ご参加くださいますようご案内いたします。

日時	平成29年11月26日(日) 午前10時~11時30分
場所	富岡まちづくりセンター ホール
講師	遠藤 勝裕 氏
テーマ	大規模地震が発生したとき わたしたちはどのように行動すべきか
共催	富岡まちづくりセンター
※参加費	無料 問い合わせは富岡まちづくりセンターまで TEL 04-2942-3110

～ 富岡ライブラリーの収集と活用について ～

『富岡地区の歴史や行事及び過去の事業等を知ることができる写真・ビデオ・図画・図書等の資料を収集し、目録を作成するとともに、できれば定期的に展示等を行う。』

上記を富岡ライブラリーの収集と整備に関する目的として本事業を展開したいと思いをします。

この実施主体は、富岡地域づくり協議会広報委員会とし、その収集・整理・管理・活用等を図っていきます。**何か問い合わせやご提案等がありましたら本広報委員ないしは富岡まちづくりセンターの事務局までお願いします。**

尚、提供いただきます写真・ビデオ等については、返却できないことが多々あるかと思えますので、コピーしたものをお預かりしたいと思えます。農具・民具等の具体物については写真等に撮っていただいでご提供いただけますようお願いいたします。

提供いただいた方のお名前を目録に残したいと存じますので、あらかじめご了承くださいと思えます。

ところで、現時点で 30 点ほどの資料が収集されています。必要に応じてご覧いただけますので、お声かけください。

**※まちづくりセンターとして各行事や催し物を写真に撮影しています。また、その様子を模造紙等にまとめて掲示板等に掲示して地区の皆様へ周知を図っています。これらも、ライブラリーとして該当するもの、ないしは、準ずるものとしたしたいと思います。**

◆防災訓練 9月2日(土)に西富小学校で行われた「所沢市総合防災訓練」の様子をご紹介します



【AED訓練の様子】



【救護訓練の様子】



【救護訓練の様子】



【吹き出し訓練の様子】

◆敬老会の様子 9月10日(日)に行われた「富岡地区敬老会」の様子をご紹介します



【司会のあいさつで始まります】



【会場の様子】



【演目の様子】



＜編集後記＞

対局の日は小雨が木々の茂りを濡らすほどに降っていたが、一面の碁盤が置かれていた和室はやわらいだ雰囲気、床には赤紫の菊に白い小菊、吾木香（われもこう）をあしらった生け花が秋の気配を漂わせている。硝子戸の外は池で、楓がこんもりと枝を重ね微風にそよいでいた。部屋には先に高尾紳路名人が入って来られ、端正に座して盤上に置かれた白布を手に丁寧に盤上を拭い清められた。数分おくれて井山裕太六冠が入場、つつましく座につかれる。

先手の黒番は名人。かねて考えてきたとおりというように、迷いなく右上に一石をはっしと打つ。時をおかず井山六冠は、控えめに左上に定置網の起点のように静かに置いた。それだけなのに、両者の気分がなんとなく伝わるような思いである。・・・

両者は盤上を見つめ、聞こえぬほどにわからぬ言葉を呟きつつ状況に反応している。高尾名人はしばしば立ち、戻ってはお茶を飲み、チョコレートなどを噛み砕き、井山六冠はポットからよくお茶を飲んだ。・・・

心を澄まして盤上を見れば、両者の精神の結晶としての石の配置が美しい。しかし、それは同時に黒白の埜塙(るつぼ)のような乱世の渦だ。妖しい運気がただよい、不思議な白熱光を発している。・・・

第42期囲碁名人戦七番勝負の第2局を歌人の馬場あき子さん(89)が書いた観戦記を引用したものです。見る人が見るところにも見えて、こうも上手に表現できるのかなと思いつつ、これを読んだものです。いろいろな分野の人の書いた文章を読んでみることも妙味かなという思いがしました。さて、本局の結果ですが、井山六冠が中押し勝ちで1勝1敗のタイに戻ったようです。